

平成28年度 新農薬実用化試験(効果試験)成績

試験実施機関:(公社)福島県植物防疫協会

試験年度	項目	対象作物(品種)	試験薬剤(使用濃度)	対象病害虫名	発生状況	効果判定(薬害)	結果及び考察
28	病害防除	実えんどう	メジャーフロアブル(×2,000)	灰色かび病	中(接種)	A(一)	本剤の2,000倍液散布は、対照薬剤のアミスター20フロアブル2,000倍液散布と比較して、効果がまされた。また、無処理区と比較して効果が高く、実用性は高いと考えられた。薬害は認められなかった。
		実えんどう	メジャーフロアブル(×2,000)	菌核病	極少(接種)	?(一)	菌核病(接種試験)の発生が極めて少なかったため、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
		ねぎ	メジャーフロアブル(×2,000)	葉枯病	中(接種)	B(一)	本剤の2,000倍液散布は、対照薬剤のアミスター20フロアブルの2,000倍液散布と比較して、ほぼ同等の効果が認められた。また、無処理と比較して防除効果が認められた。実用性は高いと考えられた。
		リンゴ(陽光)	AKD-5195SC 40SC(×2,000)	炭疽病	甚(接種)	C(一)	2,000倍は対照薬剤のオキシラン水和剤、500倍に比較し劣る防除効果であった。無散布区と比較すると防除効果はあるものと判断された。甚発生条件下での試験であることを考慮し、実用性はやや低いがあるものと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		リンゴ(陽光)	NNF-1520F(×2,000)	炭疽病	甚(接種)	D(一)	2,000倍は対照薬剤のオキシラン水和剤、500倍に比較し劣る防除効果であった。無散布区と比較すると防除効果はわずかに認められたものの低かった。甚発生条件下での試験であることを考慮しても実用性は期待できないものと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	NF-180F20(×2,000)	灰星病	多	A(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍とに比較しやや劣る～同等の防除効果であった。無散布区と比較して防除効果は高かった。実用性は高いと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	NNF-1520F(×2,000)	灰星病	多	A(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較しほぼ同等の防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は高かった。実用性は高いと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	ケンジャF(×2,000)	灰星病	多	A(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較しほぼ同等の防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は高かった。実用性は高いと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	NF-180F20(×2,000)	ホモブシス腐敗病	多	A(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較し優る防除効果であった。また、無散布区と比較して高い防除効果が認められた。実用性は高いと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
	虫害防除	アウトウ(佐藤錦)	IKI-3106L50(×2,000)	スキャンバ類(コスキャンバ)	多(接種)	A(一)	本剤の2,000倍液の散布は、対照薬剤のフェックスフロアブル4,000倍液の散布と同等の高い防除効果が認められ、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
		アウトウ(佐藤錦)	TS-MM2粒剤(100g/樹)	野そ(ハタネズミ)	中	C(一)	本剤の食害防止効果は、対照のフジワン粒剤200g/樹と同等であり、無処理に比較して効果が認められた。忌避効果は、対照及び無処理よりも優れていた。野そ被害が生じにくい条件であったことを考慮し、本剤は、効果は低い実用性は高いと判定した。苗木の生育に対する薬害は認められなかった。
		リンゴ(スターキングデリシャス)	EPG-3AL剤(原液)	アブラムシ類(ユキヤナギアブラムシ)	多	A(一)	本剤は、対照のアドマイヤー顆粒水和剤10,000倍と比較してまさる効果を示し、無処理区と比較して高い防除効果が認められた。実用性は高いと考えられた。葉に対する薬害の発生は認められなかった。
		モモ(あかつき)	NNF-1520F(×2,000)	ホモブシス腐敗病	多	A(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較し優る防除効果であった。また、無散布区と比較して高い防除効果が認められた。実用性は高いと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	ケンジャF(×2,000)	ホモブシス腐敗病	多	C(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較しやや劣る防除効果であった。また、無散布区と比較して防除効果は認められたものの効果は低かった。効果はやや低い実用性は高いものと考えられた。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	アミスター10F(×1,000)	炭疽病	多(接種)	A(一)	1,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のプリントフロアブル25,000倍に比較し同等の防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は高かった。実用性は高いと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
モモ(あかつき)		ファンタジスタWDG(×3,000)	炭疽病	多(接種)	C(一)	3,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のプリントフロアブル25,000倍に比較しやや劣る防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は認められた。実用性は高いものと考えられる。葉および果実に対する薬害は認められなかった。	
ウメ(白加賀)		テルスターフロアブル(×3,000)	アブラムシ類(ウメコブアブラムシ)	中一少	A(一)	本剤の3,000倍は、対照のマラソン乳剤2,000倍と比較してほぼ同等の効果を示し、無処理区と比較して高い防除効果が認められた。実用性は高いと考えられた。葉および果実に対する薬害の発生は認められなかった。	